

令和5年度総社市市民提案型事業中間報告

あなたと繋がる介護の輪



総社市介護保険関係事業者連絡協議会

総社市介護保険関係事業者連絡協議会とは・・・

総社市内で介護保険に関連する者を会員とする自主組織として、職種、職域、利害を超えて、行政との連携や連絡調整を図りつつ、介護保険事業の円滑な運営を目指し、会員自ら資質向上と質の高いサービス提供をすることを目的にしています。

○事業所間の連携

- ・顔の見える関係づくりを行い、連携がスムーズになる
- ・災害時などの緊急時の連携がとりやすくなる

○介護人材の確保、質の向上

- ・研修機会の確保を行い、質の向上ができる

○市民の福祉の向上

- ・どの事業所でも共通した認識で一定レベルのサービスを受けることができる



令和5年度の活動状況

日時	活動内容	講師		参加者
6月	研修「高齢者の運転免許制度、 特殊詐欺にあわないために」	警察署 (生活安全課)	17名	警察署、民生委員、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等
8月	多職種情報交換会	コロナ感染症のため、日程変更		
9月	研修「薬剤師会との交流研修」	薬剤師会	19名	薬剤師会、地域包括支援センター、訪問看護、居宅介護支援事業所等
10月	研修「神経難病患者の支援」	難病医療連絡協議会	40名(申込)	医師会、医療機関、訪問看護、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等
11月	災害時机上訓練	介護支援専門員協会 災害対策部		
1月	多職種情報交換会			

「薬剤師会との交流研修」



研修会開催後の感想（6月、9月）

専門職①

専門職間のネットワークだけでは、その人を支えることができるわけではない。地域で支える人がいるから、その人の生活が継続できると感じた。

専門職②

情報は日々変わっていくものでついていくことが大変で、それを伝えることは難しい。

専門職③

集まって学ぶ機会がいい。

これからの予定…

災害の兆候あり

利用者浅見さん宅でサービス担当者会議中に、
緊急地震速報が鳴りました



[【M9.1】南海トラフ巨大地震 最悪クラス 緊急地震速報 シミュレーション - YouTube](#)

災害の兆候あり

どう行動するか考えてみましょう

○緊急地震速報が鳴って、どう行動するか考えてみましょう

緊急地震速報を発表してから揺れが到達するまでの時間は、
数秒から長くても数十秒程度と極めて短く、震源に近い
ところでは速報が間に合わないこともあります



総社市事業者連の課題

○市内の事業所同士のつながり

○地域とのつながり

○様々な機関とのつながり

